



秋剣連

発行
秋田県剣道連盟
〒010-0914
秋田市保戸野千代田町 14-12
SAKAEビル 2F-B
TEL 018-883-0680
FAX 018-883-0663
E-mail a-kendo@abelia.ocn.ne.jp
http://www18ocn.ne.jp/~axtkendo/

県剣道連盟設立60周年 記念式典・表彰・祝賀会開催

10月28日、秋田市のホテルメトロポリタン秋田で県剣道連盟設立60周年記念式典・祝賀会が開かれ、県剣道の普及発展に貢献した102人を表彰した。

被表彰者を初め、関係者ら140人が出席。鑑剣連会長は、多くの県民に支えられ歩みを進めてきた連盟のこの10年間の振り返りながら「大震災で苦難に立ち向かう姿、助け合う姿」は、世界で評価を受けた。そうした日本の文化は武道にも根付いており、これからも大切に育みたいと挨拶。

来賓の鈴木洋一県体協会長からは、「剣道による人間力豊かな人材の輩出など長年の功績に敬意と感謝を示す」との祝辞をいただいた。

続いて県や郡市連盟の役員を務めるなど剣道普及発展に貢献した功労者表彰が行われ、代表して菅原孝雄（鹿角剣連会長）へ表彰状と記念品手渡された。

式典・表彰式に引きつづき開かれた祝賀会では、来賓を代表して、小笠原直樹（秋田魁新報社代表取締役社長）から「人としての礼節をしっかり守るといふ剣道の修練の原点に立ち返り、次の世代にしっかりと剣道の良さを伝え、連盟が隆々と発展していくことを祈念する。」との祝辞をいただき、中泉松之助（連盟参与）の乾杯の発声で開宴。受賞者をお祝いする声と共に、この10年間で連盟の最大の主管事業であった国体の苦労話に花が咲くなど終始和やかな雰囲気の中、盛会裏に幕を閉じた。

受賞者一覧 総計102名

①県連盟・郡市連盟要職貢献表彰

「長い間、県および郡市剣連役員を務め、剣道の普及発展に貢献」

菅原 孝雄(鹿角)	安藤 純(由利本荘にかほ)	61名
佐藤 圭二(大曲仙北)	向島 徹(秋田市)	
白根 研二(秋田市)	阿部 芳久(秋田市)	
藤原 俊久(秋田市)	中泉松之助(秋田市)	
大森 宣昌(秋田市)	前田 真(秋田市)	
加藤 浩(大館北秋)	石黒 敏(秋田市)	
石田 典之(秋田市)	浅利 芳明(鹿角・物故)	
似鳥 勇一(鹿角)	村木 孝一(鹿角)	
齋谷 利和(男鹿湯上南秋)	瀧澤 初郎(男鹿湯上南秋)	
松山 幹雄(男鹿湯上南秋)	鎌田 浩一(男鹿湯上南秋)	
初山 修悦(男鹿湯上南秋)	千田 信治(秋田市)	
石田 泰男(秋田市)	工藤 康治(由利本荘にかほ)	
小笠原良一(由利本荘にかほ)	佐藤 淳一(由利本荘にかほ)	
須田 清文(由利本荘にかほ)	斎藤 衛(由利本荘にかほ)	
佐々木 俊哉(由利本荘にかほ)	木内 恵一(由利本荘にかほ)	
菊地 辰雄(由利本荘にかほ)	小松 公芳(由利本荘にかほ)	
小林 俊夫(由利本荘にかほ)	佐々木 真雄(由利本荘にかほ)	
嵯峨 秀夫(由利本荘にかほ)	高野 均(由利本荘にかほ)	
小松 哲郎(由利本荘にかほ)	山部 信郎(大曲仙北)	
小田島光栄(大曲仙北)	明沢 良之(横手市・物故)	
佐々木 廣(横手市)	子野日信一(横手市)	
阿部 正夫(横手市)	平元 誠(湯沢市雄勝郡)	
高崎 徹郎(湯沢市雄勝郡)	加賀谷政美(湯沢市雄勝郡)	
平元 豊(湯沢市雄勝郡)	渡部 有司(湯沢市雄勝郡)	
渡部 良治(湯沢市雄勝郡)	阿部 芳岳(湯沢市雄勝郡)	
児玉 勇孝(湯沢市雄勝郡)	戸嶋 芳郎(湯沢市雄勝郡)	
東海林 一義(湯沢市雄勝郡)	阿部 桂(湯沢市雄勝郡)	
岩野 信一(湯沢市雄勝郡)	柿崎 清(湯沢市雄勝郡)	
山内 信弘(湯沢市雄勝郡)	上遠野 秀夫(湯沢市雄勝郡)	
佐藤 宗男(湯沢市雄勝郡)	二郷 準一郎(湯沢市雄勝郡)	
中村 正明(湯沢市雄勝郡)		

②郡市剣連・加盟団体・普及団体の 普及振興貢献表彰

「役員以外の活動を通じ、郡市剣連・加盟団体・普及団体の普及振興に貢献」

田村 信悦(能代山本)	根本 恵(鹿角)	40名
上手 康弘(鹿角)	齋藤 良子(鹿角)	
堂場 博一(男鹿湯上南秋)	勝田 政司(男鹿湯上南秋)	
目黒 久一(男鹿湯上南秋)	児玉 孝文(男鹿湯上南秋)	
戸塚 徳廣(男鹿湯上南秋)	原田 三智雄(男鹿湯上南秋)	

③国外・県外在住貢献者表彰

「国際交流・県外交流等を通じ本県剣道の発展振興に貢献」

泉 久男(福島・物故)

1名

渡邊 良一(男鹿湯上南秋)	菅原 耕治(男鹿湯上南秋)
伊藤 悠作(男鹿湯上南秋)	伊藤 正幸(男鹿湯上南秋)
三浦 拓雄(男鹿湯上南秋)	宮野 泰治(男鹿湯上南秋)
宮城 正人(男鹿湯上南秋)	石田 廣太郎(横手市)
三浦 吉雄(横手市)	加藤 久雄(横手市)
須田 曉(横手市)	小坂 伸悦(横手市)
菅原 勉(湯沢市雄勝郡)	湯澤 寛(高体連)
木浪 恒二(高体連)	佐々木 剛(高体連)
加藤 由佳(高体連)	鈴木 紀子(高体連)
高橋 英夫(中体連)	伊藤 正則(中体連)
柏原 正人(中体連)	黒田 清志(中体連)
齊藤 明子(中体連)	落合 等(道場連盟)
伊藤 善尚(道場連盟)	小松 晃(道場連盟)
石田 達郎(道場連盟)	長谷部 健(高齡剣友会)
大野 房雄(高齡剣友会)	鈴木 誠一(高齡剣友会)



第2回秋田県幼・小低学年個人剣道錬成大会（平成25年2月3日・秋田県立武道館）

●幼年の部



敢闘賞 大竹 瑠璃 胡翔 (東昇剣)・伊藤 剛 志 (奥檜館)
佐藤 快丸 翔人 (秋水館)・小 藤 暖 太 (有武館矢島)
中村 丸 人 (協和剣道)・進 藤 泰 知 (協和剣道)



優勝 鎌田 誠也 (神武館)
準優勝 田中 夢 (奥檜館)
3位 土田 剛士 (有武館矢島)
三浦 嘉 晟 (由利スポ少)

●一年生の部



敢闘賞 高橋 秋羽 (修武館)・湊 歩 樹 (井川スポ少)
似鳥 咲 咲 (横平スポ少)・鶴 田 琳 果 (雄信館)



優勝 本間 廉基 (奥檜館)
準優勝 佐藤 瑛 葉 (有武館矢島)
3位 諸井 福次郎 (雄信館)
井島 周 (石沢スポ少)

●二年生の部



敢闘賞 成田 華琉 (新山)・田口 龍也 (角間川)
渡部 ひかり (天王館)・佐 藤 悠 月 (雄信館)



優勝 東海林 健太 (勝平)
準優勝 高島 慶太 (雄信館)
3位 三浦 育真 (雄信館)
淡路 航志朗 (勝平)

●三年生の部



敢闘賞 高橋 京太郎 (修武館)・小松 龍馬 (奥檜館)
新澤 慶人 (大館剣修)・草 弼 柚 奈 (田沢湖志成館)



優勝 福田 樹也 (秋水館)
準優勝 鎌田 高宏 (神武館)
3位 山田 夏月 (勝平)
畠 山 葉 月 (田沢湖志成館)



●四年生の部



敢闘賞 捧木 元一 (雄信館)
 優勝 英颯 (天王館)・高上 愛純 (角間川)
 準優勝 理聖 (雄信館)

優勝 白井 陽 (角間川)
 準優勝 渡部 大 (天王館)
 3位 羽生 花 (勝平)
 敢闘賞 田村 爽 (清心館小柳)



●5年生男子の部

優勝 菅三 阿福 (修武館)
 準優勝 原浦 涼直 (神武館三吉)
 3位 野田 直樹 (秋武館)
 敢闘賞 小菅 野崎 (勝平スポ少)
 勇 介 (修武館)
 義 仁 (飯島剣道)
 慎 太郎 (八郎湯スポ少)

12月1日(土) 県立武道館に於いて、小学校5・6年生男女合わせて362名がエントリーして行われた。ベスト8以上の入賞者は、下のとおり。
 試合に先立って、全日本剣道連盟「平成24年度少年剣道教育奨励賞」の代理授賞が行われた。
 受賞団体は、奥檜館道場。

第15回 秋田県小学校学年別剣道大会 少年剣道教育奨励賞 受賞



●6年生男子の部

優勝 後藤 大 (角間川)
 準優勝 藤橋 駿 (修武館)
 3位 高打 藤村 (雄信館内山)
 敢闘賞 藤村 駿 (雄信館内山)
 勇 人 (新山スポ少)
 及 田 川 拓 (雄信館内山)
 村 中 起 (八郎湯スポ少)
 野 崎 (秋武館)



●5年生女子の部

優勝 齊藤 芽衣 (雄信館内山)
 準優勝 伊藤 涼日 (天王スポ少)
 3位 黒山 奈那 (田沢湖志成館)
 敢闘賞 黒山 奈那 (八橋)
 上 林 いろ葉 (仁賀保スポ少)
 悠 真 (有武館矢島)
 華 奈 (西馬音内小)
 奈 優 (奥檜館)

平成24年度
第2回全国剣道指導者研修会
「中学校武道必修化に伴う指導法」
東北ブロック研修会

11月17日、18日の2日間、県立武道館において東北各県83名の中学校指導者が熱心に受講。

〔役員講師〕
小久保昇治・吉崎 勝・坂谷達彦
〔全県連講師〕
網代忠宏・軽米満世・有田祐二・山田博子
氏家道男・神崎 浩

◎主な講習内容
一、中学校保健体育における武道の必修化について
二、中学校における学習内容について
三、剣道授業の展開、安全指導
四、剣道授業における楽しい動機付け
五、剣道用具の無い場合の授業例
六、木刀(竹刀)使用による授業例
七、剣道用具使用の授業例
七、様々な攻防の展開(リズム剣道)



●6年生女子の部

優勝 佐々木 来穂 (勝平スポ少)
 準優勝 田口 間 (角間川)
 3位 山平 夏衣 (奥檜館)
 敢闘賞 山見 真由 (勝平)
 星 野 (土崎小)
 まりあ (奥檜館)
 さやか (飯田川スポ少)
 翔 奈 (雄信館内山)

第17回秋田県中学生・高校生
学年別剣道大会(中学校の部)

平成25年2月16日(土)
県立武道館に於いて開催。

●個人エントリー数

1年女子 113名
2年女子 76名
1年男子 164名
2年男子 143名

【学校対抗】

●中学校1年男子

優勝 勝平中学校
準優勝 土崎中学校
3位 天王南中学校

●中学校1年女子

優勝 勝平中学校
準優勝 本荘南中学校
3位 天王南中学校

●中学校2年男子

優勝 秋田北中学校
準優勝 天王南中学校
3位 秋田南中学校

●中学校2年女子

優勝 湯沢北中学校
準優勝 勝平中学校
3位 横手南中学校

個人ベスト8以上の入賞者は下の
とおり。



●中学1年女子(個人)

優勝 羽渡 生 遥 (勝平)
準優勝 渡 宇 佐 藤 (天王南)
3位 関 貴 黒 沢 (協和)
敢闘賞 佐 黒 沢 (生保内)



●中学1年男子(個人)

優勝 人 (天王南)
準優勝 櫻石 小 謙 鈴 (土崎)
3位 庭井 野 田 木 (勝平)
敢闘賞 拓大 直 歩 俊 太郎 (羽城)
人 夢 也 夢 (秋大附)



●中学2年女子(個人)

優勝 荒前 昌 成 伊 (湯沢北)
準優勝 井田 山 田 勢 (勝平)
3位 綾 菜 那 子 夏 (生保内)
敢闘賞 小 夏 (横手南)



●中学2年男子(個人)

優勝 齊 鈴 工 菅 茂 (秋田北)
準優勝 藤 木 藤 原 木 (秋田北)
3位 祐 脩 拓 敬 (秋田南)
敢闘賞 藤 木 藤 原 木 (秋田南)

●個人エントリー数

1年女子 38名
2年女子 38名
1年男子 88名
2年男子 70名

【学校対抗】

●高校1年男子

優勝 秋田商業高校
準優勝 新屋高校
3位 秋田西高校

●高校1年女子

優勝 秋田商業高校
準優勝 秋田高校
3位 大曲高校

●高校2年男子

優勝 秋田商業高校
準優勝 新屋高校
3位 秋田高校

●高校2年女子

優勝 秋田商業高校
準優勝 大曲高校
3位 大館鳳鳴高校

個人ベスト8以上の入賞者は次
ページに掲載。

第17回秋田県中学生・高校生
学年別剣道大会(高校の部)

平成25年2月16日(土)
県立武道館に於いて開催。



●高校1年女子（個人）

優勝 鈴木 寧々 (秋田)
準優勝 木藤 結衣 (大曲)
3位 角谷 奈美 (秋田商)
敢闘賞 佐角 優子 (秋田修英)
鈴木 寧々 (秋田)
木藤 結衣 (大曲)
角谷 奈美 (秋田商)
佐角 優子 (秋田修英)
鈴木 寧々 (秋田)
木藤 結衣 (大曲)
角谷 奈美 (秋田商)
佐角 優子 (秋田修英)



●高校1年男子（個人）

優勝 利藤 聖人 (秋田商)
準優勝 浅伊 憲人 (秋田商)
3位 伊戸 徳介 (大曲農)
敢闘賞 齊高 稀 (秋田)
利藤 聖人 (秋田商)
浅伊 憲人 (秋田商)
伊戸 徳介 (大曲農)
齊高 稀 (秋田)
利藤 聖人 (秋田商)
浅伊 憲人 (秋田商)
伊戸 徳介 (大曲農)
齊高 稀 (秋田)



●高校2年女子（個人）

優勝 荒井 美和 (秋田商)
準優勝 井藤 海月 (秋田商)
3位 加保 五奈 (秋田商)
敢闘賞 長干 葉 (大館鳳鳴)
荒井 美和 (秋田商)
井藤 海月 (秋田商)
加保 五奈 (秋田商)
長干 葉 (大館鳳鳴)
荒井 美和 (秋田商)
井藤 海月 (秋田商)
加保 五奈 (秋田商)
長干 葉 (大館鳳鳴)



●高校2年男子（個人）

優勝 野石 賢也 (秋田商)
準優勝 小武 也志 (秋田商)
3位 佐鈴 浩平 (秋田)
敢闘賞 佐木 悠弥 (秋田)
野石 賢也 (秋田商)
小武 也志 (秋田商)
佐鈴 浩平 (秋田)
佐木 悠弥 (秋田)
野石 賢也 (秋田商)
小武 也志 (秋田商)
佐鈴 浩平 (秋田)
佐木 悠弥 (秋田)

第27回秋田県都市対抗剣道大会

平成24年10月21日（日）
県立武道館に於いて開催。

全県の剣道加盟団体にとつて最大・最高の試合であり、次の条件で構成された9郡市の社会人が男女それぞれ団体戦で覇を競った。

○男子団体は7人構成、登録11名
試合毎選手変更可能。

選手に段位制限はないが、三将、副将、大将に年齢制限がある。

○女子団体は3人構成、登録5名
試合毎選手変更可能。段位、年齢の制限はない。

●男子決勝リーグ結果

秋田市 ② 湯沢雄勝
湯沢雄勝 ③ 男鹿潟上南秋
秋田市 ③ 男鹿潟上南秋
湯沢雄勝 ④ 男鹿潟上南秋

優勝 秋田市
2位 湯沢雄勝
3位 男鹿潟上南秋

●女子（予選リーグ1位対決）

秋田市 ① 横手市
湯沢雄勝 ② 男鹿潟上南秋
湯沢雄勝 ③ 男鹿潟上南秋

「代表決定戦勝」

優勝 秋田市
2位 横手市
3位 湯沢雄勝



男子・女子優勝の秋田市チーム



開会式での各郡市選手

シリーズ道場紹介 第五回

角間川道場剣道スポーツ少年団

第37回 大曲仙北少年剣道錬成大会



●館長

佐藤 圭二

●所在地

大仙市角間川町字四上町一番
大仙市角間川公民館敷地内

●本道場の歴史

明治、大正、昭和と角間川尋常小学校の歴史ある剣道部は、戦後昭和41年角間川小学校において、坂田（旧姓松田）義夫先生の御努力により復活し、以降栗林先生に引き継がれました。平成8年、角間川道場剣道スポーツ少年団に生まれ変わり、同時にそれまで使用されていた旧角間川小学校の体操場が角間川道場となり現在に至っております。現在は落合等先生を中心に、角間川小学校の卒業生が指導にあたっている。

●稽古日と時間

毎週火・水・金曜日
午後7時より9時

●稽古内容と指導要点

切返し、掛り稽古を中心に行い、基本技の稽古を毎日のように行っております。特に低学年、高学年の区別を無くし、一緒に掛り稽古を行うことが要点である。

●本道場の特色

特に大正・昭和と、全国大会で優勝するなど輝かしい歴史を持つこの地にあつては、剣聖高野佐三郎氏もこの地を訪れ、上記左に掲載した「学剣克己」の書を揮毫いただいた歴史もあります。諸先輩方の剣道に対する思いを引き継ぐと共に、さらに子供たちには剣道を通じて、しっかりとした人格形成の場となる事を願い、指導にあたっている。

●指導者数 四名

●門弟数 十三名

●最近の戦績

第十五回秋田県学年別剣道大会
六年生の部 男子優勝
女子準優勝
第二回幼・少低学年個人剣道大会
四年生の部 優勝

東北管区内警察剣道大会

平成24年7月4日（水）
於宮城県・富谷スポーツセンター

●団体第2位

全国警察剣道大会

平成24年10月23日（火）
於日本武道館

●第3部対戦結果

第1試合	秋田	②	②	徳島
第2試合	秋田	①	①	富山
第3試合	秋田	②	③	福島
第4試合	秋田	①	④	大分
第5試合	秋田	③	④	愛媛

平成25年度当初秋剣連行事

○東日本中央講習会伝達講習会

4月13日（土）県立武道館剣道場

○秋田県剣道連盟役員会（総会）

4月20日（土）パークホテル

○秋田県剣道段別選手権大会

4月27日（土）県立武道館

○実業団・教職員・女子都道府県予選剣道大会

5月19日（日）県立武道館

24年度六段・七段称号合格者

氏名 (所属) 受審地・月日

剣道七段

佐藤 健司 (秋田市) 愛知 5月12日
打川 聡 (秋田市) 愛知 5月12日
渡部 良浩 (湯沢市雄勝郡) 愛知 5月12日及川 正 (秋田市) 長野 8月18日
横山 茂生 (由利本荘にかほ) 長野 8月18日富士 省治 (大館北秋) 東京 11月12日
後藤 高仁 (大曲仙北) 東京 11月12日
田口 和美 (大曲仙北) 東京 11月12日
山部 信郎 (大曲仙北) 東京 11月12日

剣道六段

佐藤 文法 (大館北秋) 愛知 5月13日
植田 厚 (由利本荘にかほ) 愛知 5月13日持主 健直 (大館北秋) 長野 8月19日
土田 圭助 (秋田市) 東京 11月26日
佐藤 洋平 (秋田市) 東京 11月26日
小助川 洋明 (秋田市) 東京 11月26日
山村 浩秋 (秋田市) 東京 11月26日
佐藤 真二 (秋田市) 東京 11月26日
須田恵美子 (横手市) 東京 11月26日

剣道教士

淡路 大臣 (秋田市) 東京 5月16日
山脇 知之 (湯沢市雄勝郡) 東京 5月16日
佐々木 剛 (湯沢市雄勝郡) 東京 11月26日高久 育宏 (大曲仙北) 東京 11月26日
加賀谷武英 (秋田市) 東京 11月26日
辻 文彦 (秋田市) 東京 11月26日
根田 芳弘 (秋田市) 東京 11月26日

剣道錬士

伊藤 悟 (秋田市) 東京 5月16日
粕谷 道明 (由利本荘にかほ) 東京 5月16日目黒 大祐 (横手市) 東京 11月26日
菅原 勇一 (秋田市) 東京 11月26日
出町 吉弘 (大曲仙北) 東京 11月26日
土田 真澄 (由利本荘にかほ) 東京 11月26日浅野 厚 (秋田市) 東京 11月26日
宮本 敏 (秋田市) 東京 11月26日
嵯峨 秀夫 (由利本荘にかほ) 東京 11月26日渡邊 壽男 (秋田市) 東京 11月26日
山田 朋子 (秋田市) 東京 11月26日

居合道六段

戸田 愷章 (横手市) 山梨 6月1日
小貫 洋治 (秋田市) 東京 11月17日

居合道七段

吉田 春喜 (大館北秋) 東京 1月18日
大原 哲雄 (秋田市) 東京 1月18日

杖道教士

戸澤 郁雄 (大館北秋) 東京 11月26日

全合格者中、二名の方に手記を
戴きましたので掲載します。

剣道六段合格

佐藤 洋平 (秋田市)



昇段審査に臨むにあたり、多くの先生方からご指導をいただき、感謝申し上げます。

このたびの審査を振り返ってみると、昇段することができたのは、刑務所稽古会などで、厳しく、丁寧に指導していただいたおかげであることのほか、前回受審時に比べて、子ども達と稽古する機会が増えたことも大きな要因であったように思えます。

私は、数年前から、幼い頃に通っていた雄信館内山道場で子ども達と一緒に汗を流しています。そこで「自分と相手に対し、我慢をして攻め克つこと」の大切さをあらためて子ども達から教わりました。恩師である内山眞先生は生前に「全身全霊を傾けて子ども達と稽古を重ねれば、必ず自らも向上することができ」とおっしゃっていました。今回、子ども達という鏡を通して、真剣に自分自身とも向き合うことが重要であることを身をもって知り、少しだけ成長できたのかもしれない。

子どもの頃に何気なく見ていた、道場が掲げている「真剣」という言葉は、指導する立場になった私達OBに送られたものでもあるように感じられます。この言葉を胸に、子ども達とともに剣道に励んでいきたいと考えておりますので、今後ともよろしくお願い致します。

七段までの道程

山部 信郎 (大曲仙北)



秋田県の教員になり四年目に赴任した角館高校で十八年間剣道授業、部活動を担当し充実した時を過ごした。その後転勤した学校でバレー部を指導し、腰を痛めてしまった。以前から腰、膝で整形外科に通院していたがそれなりに動いていた。しかしまとともに歩くことすら出来ない状態になってしまった。

学校の近くのハリ治療院に通い、歩ける程度までになったが、九年間は剣道がほとんど出来ない状態であった。六段受審に臨んだのは横手高校に転勤してからである。その後受審資格を得て七段に挑戦した。毎年とはいかなかったが何回か東京に出かけた。しかし合格は出来なかった。予備審査会に数階参加し、そこで目黒先生に、打突するまでの攻めの大切さを教わり、特に今回小松誠先生に、無理して打つことではない、しっかりと守ることも大切であることを指導いただき、目から鱗でした。

当日は攻めに心がけ、落ちついて受審出来た。一人目、二人目ともに、相手が打ってくるのを、小手すり上げ面、面返し胴を確実に打ち切るこことが出来た。打つてこなければ面に出ることも出来た。すがすがしい気持ちで審査を終えられたのも予備審査での御指導の賜物と深く感謝して居ります。

剣道との遭遇

市立長木小学校「学習発表会」
表現運動の一環としての「剣道」大館市剣道協会
会長 加藤 浩

五月中旬 会員より「小学生に『日本剣道形』を教えてもらえないか」とオファーがあり、話をよく聞いてみると市立長木小学校の学習発表会で五年生に指導できないかとの事。

六月初旬 青柳正隆校長（日体大OB）とコンタクトを取り主旨をよく伺ってみた。「小学校指導要領に武道は該当が無いため、表現運動の一環として『剣道』を取り入れたものをやりたい。五年生は男子十名女子二十名の計三十名、九月下旬にひらく学習発表会での内容は

体育的表現Ⅱ力強く・巧みな運動を剣道を通して集団で表現する。（剣道の集団演技）

ねらい

Ⅱ剣道における「基本的な動作・技」を学び、それらを集団や小集団、個人で演技し剣道の持つ「力強い動き」と「巧みな動き」を体育的に表現する。

以上のことを取り入れた演技指導をお願いしたい。」との事…。

剣道と初めて遭遇する児童に「日本剣道形」は少し難しいし「木刀による剣道基本技稽古法」はどちらかといえば『静』で主旨より少しずれてくる。考えたあげく三十名に「何をやらせるか」ではなく「何ができ

るか」そのできる中から内容を組み立てることにした。毎週木曜日14時45分～15時30分、夏休みが入るため7～8回の授業時間での指導とし、専任二名（五段）交代で若手（女子含）の補助三名にお願いすることにした。

製材関係の父兄が擬似木刀を作ってくれたが、危険性また打ち込み等の関係で竹刀を使用することとしスポ少、中学校、武道具店より人数分の中古品の提供を受けよく点検し補修。服装は各自の体操着、せめてそれらしくということ担任の先生が手作りの鉢巻を作ってくれた。

七月五日指導第一回目、手本を見せてから「構え！」案の定左手、上左足前に構えた児童が六、七名 蹲踞のできた児童が数えるだけ。次に摺り足を体育館の端から端までやらせてみる。上手な児童もいたものの大半はできずあつという間の一時間…。心配と不安の中、「礼」「蹲踞」「構え」の流れで始めたがうまくできずなかなか次のステップに進めなかった。それでも夏休み前まで「素振り」を中心何とかなどまとめることがやっとならなかつた。長い長い夏休みの後、おもいきって剣道具をつけ打たせて見ることにした。これが良かった！「素振り」では下まで下がっていた拳が打たせることで所定の位置できつちり止まる。それに伴い「発声」がおおきく出せるようになり「踏み込み」も少しづつできるようになってきた。

回を重ねるごとに打ちも強くなり、形がまとまってきた。児童たちもだんだん上手にできることで自信がつき、剣道への興味や楽しさが増して積極的に取り組むようになってきた。発表会当日（九月三十日）、第四十六回大館市民剣道大会と重複し専任指導者（打ち込みの元立ち）以

外出席できなかったが後日DVDを頂戴した。

ナレーション以外を四つのグループに分け、ステージ上下でグループごとに発表。所作、面うち、摺足、踏み込み、連続技や元立ちへの打ち込みなど発声も十分出ており短期間でこれだけできるものかと児童たちの頑張り・集中力に感心させられるとともに先生達の考えた構成もすばらしいものだった。

思いがけなかったのが、「礼」「蹲踞」の動きを分解（テレビ日体大集団行動でおなじみ）して披露したこと…。ラストは全員ステージ上下、大きな声で「われら 侍ジャパン見参！」

決めたポーズ 大成功裡に終了。発表した三十名のうち20%以上が「もつとやってみよう」と前向きな意見でこれから本格的に剣道を始めてくれれば、と明るい気持ちになれた。

最後に児童たちの感想文の一部を紹介しこの稿を閉じたいと思います。◎最初はあまり声が出なかつたけれどだんだん大きな声が出るようになってきました。

◎運動オナチの私でもできたスポーツです。優しく教えてくれてありがとうございます。◎剣道ってなんだだろうと思っていましたが、やっていくうちにだんだん楽しくなつて気に入りました。

◎剣道が好きになりました。◎母が剣道をやっていたので興味がありました。私は胴が苦手でしたがしっかりと教えてもらったので少しうまくなりました。

中学校にいったら剣道をやってみたいと思います。お時間があつたらぜひもう一度教えてください。

秋田県剣道連盟ホームページ

URLは
<http://www18.ocn.ne.jp/~axtkendo/>

ホームページ内では、年間の行事や試合結果を随時更新しています。

剣道・居合道・杖道関連の情報や試合結果を取得する際にご活用ください。その他に、各郡市ごとの道場案内・月別行事予定表・九郡市連盟事務局一覧・県剣道連盟運営組織図や、日本剣道形・木刀による基本稽古法の動画、各種講習会の記録、秋田県剣道の先覚者などの記事も掲載されております。

編集後記

今年度も、「ローカル大会の記事を多く」「シリーズ記事は継続掲載」とし、前期（十月）・後期（三月）の二回発行としました。10号（後期版）の試合記録は学年別大会が中心です。ご多忙中にもかかわらずご寄稿くださいました皆様に感謝申し上げます。

編集

秋田県剣道連盟広報委員会

吉田 雅宏、大森 宣昌

伊藤 隆、芳谷 正人

保坂 徹、辻 文彦

鹿子沢 浩美